

ういねっと

Wakayama environmentalists NET work

和歌山県地球温暖化防止活動推進センター



第30号

2013年4月18日

タイロン
アブラナ科

電気料金値上げ！

～かしこく乗り切るための3つの方法～

今年2月、ブルガリアが大きく揺れました。理由は電気料金高騰。2007年から始まった電力自由化も関連しているとのことですが、異常な値上がりにも不満を抱えた市民が暴動を起こし、内閣は総辞職に追い込まれました。

今後、発送電分離などの自由化を模索する日本も決して他人事ではありません。

日本でも全国10の電力事業者で、次々と値上げが実施されています。関西電力も来月5月1日より実施し、値上げ率は平均9.75パーセントです。例えば、ひと月に300キロワットを使用した場合、従量電灯Aですと6,864円、5月からは451円高い7,315円となります。さらに、オール電化住宅では契約内容によりますが、時間別使用の合計が670キロワット使用した場合で9,817円から1万1,439円になり1,622円の値上がりになります（関西電力ホームページ：料金シミュレーションより）。単純計算しても、年間で約5千円～2万円近い出費になります。

では、この値上げ幅を少しでも抑えるためにはどうすればよいのでしょうか。部屋の中を見渡すと、実にたくさん電化製品があふれています。人間と同じようにご飯をたくさん食べないと仕事をしてくれないものや、少しの量でもしっかり動いてくれるものまでさまざま。それぞれの機器を知ることで節電の方法が見えてきます。

1. キーワードは「くるくる」「大食漢」「だらだら」

「テレビ」のキーワードは「だらだら」。つい楽しい番組を見てしまい、そのままつけっぱなしでは、省エネタイプでも電気使用量は増大します。使用時間を決めたり、明るさ調整をするだけでも約50%の節電になります。エアコンは「くるくる」と「大食漢」。モーターなど回転装置を持ったものは、かなりの大食らいです。月一回のフィルター掃除により夏場で約21円の節電になります（省エネルギーセンター計算式より算出）。

2. 熱を防いで涼をとる

「窓を制するものは季節を制する」といわれるくらい、家の窓からの熱の移動は夏も冬も大きい。実は家全体の



約46パーセントもの熱が窓から出入りしています。最近では、ホームセンターなどで遮光フィルムやブラインドなどの対策グッズがありますが、これらの製品をうまく活用することで節電できます。

3. もったいないは「もったいない」

長年使ってきた機器。使い勝手も悪くなく愛着を感じているものもあるでしょう。しかし、確実な節電を考えるのであれば、こうした機器の買い替えは効果が大きいのです。省エネ機器買い替えナビゲーション「しんきゅうさん」というホームページで調べてみると、例えば2000年製造の400リットルの冷蔵庫と同じ容量の現行品とを入力し比較してみます。すると、年間消費電力量の差は、最大780キロワット～340キロワットになり、電気料金も約1万7,060円から7,140円と1万円近くになります。

※ ただいま、わかやま環境ネットワークでは「わかやま減電『節電所』建設プロジェクト」を企画中です。電力需要の大きい7月・8月の節電へチャレンジしてもらう企画です。

この夏、値上げ分以上の「10%節電」運動へ、会員のみならずみなさまもぜひご参加ください。

第10回総会の成功を

早いもので、もう環境ネットの総会の季節がやってきました。これに限らず、「え！、もう一年たっちゃったの？」って、年々歳々時の流れが速度を増しているように感じる事が最近多いように思うのですが、これも年齢のせいなのかなあ…

さて4月1日。その前日を以て京都議定書の第一約束期間が終わり、次の約束期間に参加することを拒んだ日本はこの日から、地球温暖化対策で拘束力のある目標を持たない漂流状態に陥りました。これは、日本が誇る古都の名を冠した国際合意を自ら無力化する行為であり残念でありませんが、地球温暖化自体はそんな事情に関係なく、深刻の度を加えながら日々進行しています。

一方、一昨年3月の福島第1原発事故をきっかけに、原発存続の是非を含めエネルギー問題についての関心はかつてなく広がっており、電力不足への対応に加え電気料金が間もなく値上げされることもあって、節電や省エネへの国民意識も高まっています。地球温暖化対策や原発政策で政府の腰は据わらなくても、市民運動の観点から見れば絶好のチャンスが訪れているのです。このチャンスを見逃さず、将来の低炭素社会建設まで見通した市民の意識変革や新たな活動参加にぜひ

とも結実させなければなりません。



そのため今回の総会では、1万人オーダーの広範な一般市民を対象とした「参加型節電キャンペーン」やライフスタイルを考える「井戸端会議」、さらに関心の高い層を対象に個々の家庭に見合ったオーダーメイドの省エネプランを提供する「家庭エコ診断」、そしてエネルギーの自給力を高め地域社会の振興にも貢献する「森林バイオマスの伐出と利活用」まで、エネルギー問題についての市民の関心や理解の度合いに合わせて多様に応じられるメニューを取りそろえて、旺盛な活動を展開する方針が提起される予定です。

今回は、設立総会から数えて10回目の区切りの総会になります。この間、精一杯がんばってきた自負はそれなりにありますが、現在の到達点はもちろん、とうてい満足できるものではありません。もっともっと多くの市民に働きかけて仲間を増やし、わかやま環境ネットワークが地域社会を変革する力量を持つ市民セクターに飛躍するジャンプ台となるよう、この総会を単なる年中行事に終わらせず、これからの活動方向をしっかりと相談する場として成功させましょう。

(重栖 隆)

春の里山で「薪とり」活動

4月14日(日)、アクションチームのもう一つのフィールドである「雑木林(山内地区の里山)」に入って、薪取り活動を行いました。冬の間雑木を間伐し玉切りして積んで置いた材木を「バケツリレー」ならぬ「薪リレー」で運び出しました。気持ちのいい晴天のもと、急傾斜の

難所もありましたが、掛け声を合わせて、「いい汗」かきました。芋谷の棚田で今年も大きなイベント(トヨタ「アクアソーシャルフェス」、損保ジャパン「セイブ・ジャパンプロジェクト」)を行う予定があるため、昼食の煮炊き用の燃料として薪は欠かせません。来月にもう一度やる予定です。

(はしもと里山保全アクションチーム 事務局長 佐藤 俊)



クローズアップ わたしたちの活動 (23)

このコーナーはわかやま環境ネットワークに参加する団体や企業、個人の活動記録と今後の展望を紹介します。

今号では、伊都郡かつらぎ町に本社工場を構える「築野食品工業株式会社」をご紹介します。

■米糠からのリサイクル

●全国で発生する米糠のうち、およそ3分の1がこめ油の生産に使われています。搗精された後の米糠、またこめ油の製造過程で取り除かれた成分を捨てることなく有効活用することで、廃棄物を少なくし、地球環境に貢献します。



●国内で唯一自給自足が可能な循環型植物油資源、米糠の有効利用に力を注ぎ、こめ油をはじめ、米糠機能性成分の研究開発を進めています。

●サラダ油に出来ない油や使用済みの油などの廃食用油は、リサイクル工場では工業用の油に再生され、石油やパルプから作られる、工業用原料の代替品に生まれ変わります。

廃食用油をリサイクルすることで、貴重な地球の資源を守ることができるのです。もちろんリサイクル工場では、省エネルギーでクリーンな処理が行われます。



■橋本市とのバイオディーゼル

橋本市では、家庭の使用済み天ぷら油を回収し、軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料に再生する取り組みを行っています。築野食品工業株式会社はこの活動に賛同し、回収した使用済み天ぷら油をバイオディーゼル燃料化しています。

バイオディーゼル燃料は環境にやさしい燃料として注目されており、環境問題に取り組むものです。



■料理教室

料理教室を通じて食の大切さとこめ油の普及に努めています。

健康な体と、とびきりの笑顔は食事から！としておいしさだけではなく、こめ油を通じて健康な生活のための食事とその知識・知恵を提唱しています。



■ WENET 第10回通常総会のお知らせ

- ★ 日時：2013年5月18日（土）13:30～15:00
- ★ 場所：和歌山市男女共生推進センター（あいあいセンター）5階 研修室
- ★ 2012年度の活動総括を行い、今年度の活動方針を決めます。今年度は、「温対法」に基づく地域での温暖化対策を促進するための基盤形成事業をはじめ、「節電所」建設プロジェクトや地域に根ざした創エネ事業を実施する予定です。会員のみなさまにはぜひご出席をいただき、大いに議論していただきたいと思っています。
運営会員の方で、どうしてもご出席いただけない方につきましては、所定の「書面表決」のご提出をよろしくお願い致します。
- ★ 総会終了後15時より、特別講演を企画中です。

自然とふれあう絶好の季節！ 5月の県内イベント情報

■根来げんきの森

◎自然観察会

*5月4日(土)13:00～15:00 定員:20名 当日受付可
里山の自然をインストラクターと一緒に観察しましょう。

◎プレパーク(森であそぼう)

*5月5日(日)10:00～15:00 定員:なし 当日受付可
木登り、ロープ渡り、竹とんぼづくりなどボランティアのプレーリーダーがお世話をします。

★ 申込&問合せ

公園管理棟0736-61-7233(火曜日定休)

■和歌山市 四季の郷公園

◎5月11日(土)森の木を使ってかわいいペンダントを作ろう

★ 申込&問合せ

和歌山市四季の郷公園 ネイチャーセンター

Tel:073-478-3707

■串本海中公園

◎魚拓をつくろう 魚拓体験イベント

*5月12日(日)①11:00～12:00 ②13:00～14:30

*参加費:無料

(水族館ご入場の皆様にご参加いただけます)

*問合せ 串本海中公園 Tel:0735-62-1122

お知らせ

■産消提携倶楽部 ふうど

【ふうど市スケジュール】

★ 生協芦原診療所駐車場

→毎週火曜日 [11:30 - 12:30]

★ Caféざっか屋 あわたま

→毎週金曜日 [17:30-18:30]

※夏時間です!

★ 柿右衛門北店はお休みです。

5月10日(金)は19時より「ぼくたちわたしたちの畑の勉強会」を開催します(通常は毎月第1月曜開催)。栽培に関することから、食べものに纏わる様々なことについて、ふうどの生産者さんのお話を聞いたり、質疑を通してディスカッションしたり…楽しい学びの時間にしたいと思います。
お子さま連れも大歓迎♪

事務局だより

マリーナシティ近くの事務所に移転して早くも一年が経過しようとしています。一昨年度に比べ事務局体制が非常に弱くなり、みなさまには大変ご迷惑をおかけしたことと思います。今回、より会員のみなさまのご要望にお応えできるようにと、5月1日から新たに一人、専従事務局員(畑 幸子 はた さちこ)さんを迎えます。どうかよろしくお願い致します。



ういねっと (わかやま環境ネットワーク通信) 第30号 (2013年4月18日発行)

発行: NPOわかやま環境ネットワーク 代表理事 重栖 隆

〒641-0014 和歌山市毛見996-2 電話 073(499)4734 FAX 073(499)4735

mail: wenet@vaw.ne.jp

http://wenet.info/